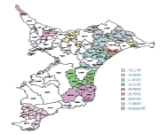


ウクライナに無償提供する装備品

隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00~15:00

令和4年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻の開始以降、朝から晩まで生々しい戦況、民間人や民間施設等への攻撃の状況がテレビ等で報道されています。しかも状況の悲惨さは、日を追うごとに増えています。そうしたなかで強く印象に残るのはウクライナ軍の激しい抵抗です。「命をかけても国を守る」ウクライナ軍のみならず一般市民（国民）にも共有されていると思います。

します。当時の岸防衛大臣は、レズニコフ国防相との会談で、ロシアによる軍事侵攻を受ける同国に対し、我が国として引き続き最大限の支援を行っていくことを約束しています。いずれも自衛隊法「116条の3」や「防衛装備移転三原則」の範囲内で、国際的な平和と安全の維持に資する「非殺傷の装備品」の提供となります。千葉県内の各基地・駐屯地からも各部隊の任務や特性から支援等をしておりますが、防衛省として積極的な広報はしないという事から細部の記載は控えさせていただきます。

日本政府は3月の国家安全保障会議（NSC）で、ウクライナに無償提供する装備品の品目と共に自衛隊機による輸送開始を決定。空自機や米軍機、民間機で周辺国に輸送を行っています。

関連の内容ですが、今回のロシアの軍事侵攻、中国との連携による日本周辺の活動を踏まえて私も、もう一度見直したことがあります。会員の皆様、「世界地図を北半球（ロシア・北朝鮮・中国）の方向からご覧ください。」

防衛省・自衛隊が現在提供しているのは、防弾チョッキ、鉄帽、防寒服、天幕、カメラ、衛生資材、非常用糧食、発電機、双眼鏡、照明器具、医療用資材です。

日本全土が各国から見たら太平洋に出るための緊要地形です。ロシアから見れば狭い日本海を挟み、まさにウクライナに近い状況です。もう少し日本国民も危機感を持つても良いと思います。

新たにウクライナ政府の要請を受け、化学兵器等に対応可能な防護マスクと防護衣、小型無人機（ドローン）を提供

隊友会の活動は限定されていますが、こういう事も広める活動（広報）をしたいものです。

§ 副 会 長 §



副会長 菊地 聡（元海自）

安倍晋三元総理が令和4年7月8日（金）参議院選挙遊説中に銃撃され逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

その5日前の7月3日（日）八千代市民会館で行われた時局講演会において、参議院選挙で憲法改正の国会発議に必要な議席数を確保し、そして「自衛隊の地位向上へとつながる憲法改正を行おうではありませんか」と力強く話されました。多くの人が憲法改正への意を強くしていたところに悲報が届き、大きな虚無感に打たれたことと拝察します。

総理大臣としての通算在職期間が3188日で歴代1位であることは、自衛隊の最高指揮官としても歴代1位であります。積極的平和主義の外交方針を掲げられ、より安定した安全保障環境の構築に多くの実績を残されました。

また、歴代総理大臣の中でも「最も隊員の心に届く言葉を話された最高指揮官であった」と感じ

たのは私だけではないでしょう。

私ができるように感じたエピソードを2つ紹介します。1つは、平成27年自衛隊観艦式の観閲官訓示において「忘れてはならない8月15日があるとして、16年前の新田原基地から悪天候の中緊急発進したF-15J改戦闘機が帰投時消息不明となり殉職した搭乗員2名の実名を挙げ、命を懸けて自衛官としての強い使命感と責任感を示した」と紹介されたことにより、当日招待されていた2遺族が、はじめて和解されたという後日談がありました。

2つ目は、平成29年護衛艦「みょうこう」における訓示です。北朝鮮の弾道ミサイル警戒監視にあたり補給のために一時帰港した「みょうこう」艦上において自衛隊の最高指揮官として「多様かつ重要な任務を担っている舞鶴の諸君の活躍なくして日本の安全はありません。」と訓示され、隊員の士気が一気に高まりました。各基地においても同様な話はあったことと思います。

隊友会の提言の1つである「憲法改正」を安倍元総理の御遺志も継承して推進していくことにご協力いただきたいと思います。

おわりに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。

§ 本部広報課長 §



本部広報課長 渡部 憲政（元空自）

本部の最近の近況等について

千葉県隊友会の皆様、隊友会本部の事務局で広報課長として勤務しています千葉県長生支部の渡部です。この度投稿の機会を得ましたので、本部の最近の状況と本部から見た千葉県隊友会について簡単に述べさせていただきます。

本部事務局は、事務局長以下12名（うち3名が千葉県会員）が理事長の幕僚として活動しています。組織は総務、経理、公益、事業、広報の各課で、中でも公益課と事業課は独特の業務を実施しています。

公益課は、各種公益事業を行っているところ、国内外戦没者遺骨収集事業は「日本戦没者遺骨収集推進協会」の団体社員として派遣要員を推薦しています。（隊友会ホームページ参照）

ご興味のある方は koueki@taiyukai.or.jp までお問い合わせください。

事業課はいわゆる「収益事業」を実施しており、本年度は、「引越見積支援サービス」の利用促進と各県隊友会への適正な収益配分、自衛隊業務のアウトソーシングの拡大を見込んだ組織的な会員の紹介などを計画しています。

また、携帯端末での Web 会議、YouTube や Twitter（フォローをお願いします）の活用を IT 化への対応として促進中です。なお、一部で要望のある新聞の電子化については、アカウント管理のアウトソーシングを含めた検討が必要であり、実現には時間がかかりそうです。

最後は、千葉県隊友会の状況ですが、ホームページからは活発に活動されているものと認識していますが、一方で昨年度の「隊友への投稿」が1件（全国平均4.5件）です。また、慰霊顕彰事業等にかかわる本部への助成申請も少ないように思えます。是非活発な投稿と積極的な申請をお願いします。

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目26-9
コンラッドビル4階

電話：043-306-2095

FAX：043-306-2096

Eメール

chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.chibataiyuu.com/>

昨年は、三甲テキスタイルの「パーソナルオーダースーツ」の記事を掲載させて頂きました。会員・ご家族様から多数のご依頼がありました。継続して「特別優待価格」でご提供致しますのでご利用して下さい。

今回は、「病気の兆候」についてです。「今日、少し調子が悪いな・・・」と日常生活でふと感じることは多いと思います。

しかし、忙しさや病院へ行くのが面倒、定期検診をしているから大丈夫との理由から、不調の原因を追究せずにそのまま放置していませんか？ 体に異変が起きた時、たとえどんな些細なものだとしても、それは何かしらのSOSを発しています。「昔から顔色やむくみなどから、体調の良し悪しを判断し、目、指、爪など体中あちこちで『病気のサイン』は確認できます。早めに気づいて適切に対応すれば健康を維持できます。病気の兆候（症状）の一例を記載しますのでご参考にして下さい。

○ 小脳疾患のサイン
「ものを取るとき、手が震える」普段は震えないのに、ものを取ろうとしたときに手が震える。これは運動の調節機能がある小脳に起きた萎縮出血、腫瘍などの疾患と言われています。

○ 脳疾患のサイン
「片方のまぶただけ重い」脳から左右12対の神経が顔や目などに分布しており、脳に異変

が起きて一方の神経の働きが低下すると、体の片方のみに症状が現れる。と言われています。

○ 糖尿病のサイン

「耳たぶの下が腫れる」耳の前下方にある耳下腺は、おたふく風邪で腫れる箇所です。特に、痛みも発熱を伴わないまま両側の耳下腺がだんだん腫れていく場合、糖尿病のケースが

散見される。と言われています。

○ 甲状腺機能低下症のサイン

「顔全体が腫れぼったい」顔がむくんで、指で押してもすぐに復元するような弾力性がある場合、甲状腺低下症の可能性。甲状腺ホルモンの分泌低下によって「舌や唇が熱くなる」「皮膚が荒れて乾燥する」などの症状も現れる。と言われています。

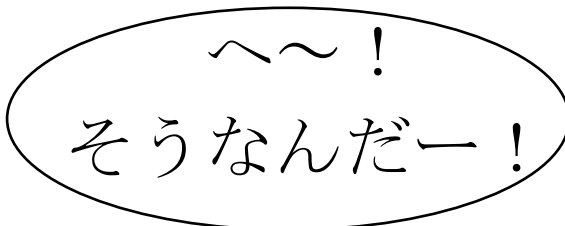
○ 肝臓病のサイン

「白目が黄色い」皮膚が黄色くなる黄疸。それより先に白目が黄色くなりやすい。と言われています。

○ 腎臓病のサイン

「起床時にまぶたがむくむ」腎臓の調子が悪いと、老廃物や水分を体外に排泄しにくくなり、体がむくみやすくなる。寝不足でもないのに、目の下がクマで黒ずんだりすることもある。肝臓病の症状のひとつと言われています。

皆様、健康寿命を長く保つためにも、早く症状をみつけ適切に処置して下さい。（理事役 茂木）



令和4年度理事役会及び前期支部長等会議

令和4年7月23日、令和4年度理事役会及び前期支部長会議を千葉県護国神社において、会長以下役員13名、支部長等19名の参加を得て開催した。初めに、護国神社に正式参拝を行い竹中宮司からご挨拶と神社の由来・変遷及び思いなどの貴重な卓話を賜った。護国神社は今年2月に中央区弁天町から若葉区桜木町に遷座されました。会員各位も機会があれば参拝して頂きたいと思えます。

会議は、会長挨拶に続き、隊友会理事長から表彰を受けた多田会員（松戸支部）、藤本会員（木更津支部）に表彰状を伝達した。主要議題である「会勢拡大」については、入会状況、入会促進施策及びメリットについて担当理事役から説明し、コロナ感染状況をみながら年間を通じて駐屯地訪問・説明会の開催などの施策を積極的に推進するとした。

会員各位においては後輩に、「一緒にやろう！」と一声をかけて下さい。皆様ご意見を参考に具体的方策について検討を深化させて、実行に移したいと考えております。（事務局長）



◆ 柏 支部 ◆

柏市は、平成16年に海上自衛隊下総基地を抱える沼南町と合併し、旧柏市所在の航空自衛隊柏通信所及び陸上自衛隊の高射中隊と合わせ、市内に陸海空自衛隊を抱える珍しい町です。

柏支部は、平成30年度末に東葛地区支部連合会の解散を受けて、翌31年度から支部単独の活動を開始しています。また、柏市には柏支部の他に沼南支部があり、市内に2つの隊友会支部が共存しています。その特徴は、沼南支部が下総基地勤務経験のある海上自衛官OB主体で、4月号で紹介された通り、地域の諸活動に積極的に貢献し大変感謝されており、会員相互の結びつきの強さと地域貢献意欲の強い地域密着型であるのに対し、柏支部は、常磐線沿線で陸と空の市ヶ谷や松町勤務経験のある会員を多く抱え、中央との結びつきが強く、会員の中には政府の要職や自衛隊OBの組織の要職を兼ねる方もおります。支部長自身が現職の柏市議会議員であるため、より中央と地域の政治や行政との距離が近くなっているのかも知れません。

その結果、二つの支部は、市の合併前からそうであったように、その性格の違いを持ち味にかえ、相補いながら並列して活動しています。柏支部の主な活動は、①自衛隊の活動や防衛計画の大綱・中期計画などを市民や市議会議員に説明・普及 ②市役所へのOB隊員の再就職の

要請と自衛隊の活動との連携 ③市内にある戦争戦没者に対する慰霊祭の実施



戦没者の慰霊祭

④自衛隊への入隊者激励会への寄与など柏市の行政に対する積極的な貢献などです。

選挙においては、沼南支部とともに応援活動をしていきますが、特に参議院議員や市議会議員選挙は旧知の方が立候補していることもあり、支部会員が盛り上がる良い機会になっています。

一方、昨年の選挙で市長が保守中道から革新系元国会議員に変わったことで、自衛隊との新たな距離感を模索しているさなかでもあります。

柏支部長 阿比留 義顕

◆ 長生・茂原支部

長生・茂原支部についてご紹介したいと思えます。長生郡は六町村から構成されており、茂原市とは、長生郡市として消防やごみの収集等で一つの行政区として連携しております。

この地区に駐屯地・基地が所在しないため、隊友会としては残念ながら活発に活動しているとは言えません。会員数は約八十名ですが

細々ながら、懇親会や災害対処訓練を実施しています。各地域の紹介の機会を得ましたので、この地域の所感をご披露したいと思います。

全般としては、九十九里沖を暖流が流れているので真冬でも温暖です。みぞれが降っていて、外房線で大網駅からトンネルを抜け、土気駅に出ると積雪しているのは常態です。また天然ガスの埋蔵量も豊富で、あちらこちらにガス採取栓(1)があります。敷地内に自噴する家庭では、自前で使用しているところもあります。

茂原市は外房地区の中核都市で、特に有名なのは、毎年九十万人で賑わう七夕で関東屈指のお祭りです。市内には、千二百七十六年に建立され日蓮上人がはじめてお題目を唱えた「藻原寺」があります。個人的には、「茂原」の語源かと思っています。また同市には、長生地域防災備蓄倉庫があり、支部としても災害対処訓練(2)に参加しています。

長生・茂原支部長 森本 澄男



ガス採取栓 (1)



災害対処訓練 (2)